

企業主導型保育のこれから ～保護者の選択と実際の姿～

【日時】2019年11月3日（日）15:00～17:00

【会場】東京大学 伊藤謝恩ホール（赤門から入り右手）

世界でもっとも少子高齢化が進んでいる我が国では、子育てしやすい社会の実現は喫緊の課題となっています。そのひとつとして、保育所待機児童の解消や、仕事と子育ての両立の支援を目的とする「企業主導型保育事業」が平成28年度に開始されました。

現在、全国で4,000近くの企業主導型保育施設が運営されています。その実態や保護者の認知度を調べるとともに、そもそも保護者はどのようにして保育施設を選択しているかという問いから、今後の保育政策への示唆を議論します。

プログラム

開会挨拶 西川隆久（内閣府 子ども・子育て本部参事官）
酒井奈穂（日本生命保険相互会社 総合企画部）
遠藤利彦（Cedepセンター長）

話題提供

企業主導型保育施設及び利用者（保護者）の調査から

1. 調査概要・企業主導型保育施設の取り組みの実態
淀川裕美（発達保育実践政策学センター 特任准教授）
2. 保護者の利用している企業主導型保育施設への評価の実態
佐々木織恵（発達保育実践政策学センター 特任助教）

子育て中の保護者5,500名対象のweb調査から

3. 保護者の保育施設選択の要因～Conjoint分析の結果から～
深井太洋（東京大学大学院経済学研究科 研究員）

指定討論 前田正子（甲南大学 教授・企業主導型保育事業の円滑な実施に向けた検討委員会座長）
秋田喜代美（東京大学大学院教育学研究科 研究科長・教授）

閉会挨拶 秋田喜代美（前述）

参加費無料

事前申込制
（先着350名）

お申し込み

Cedep

検索

発達保育実践政策学センターのウェブサイトからお申込みください。
<http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/event/17382/>



【協力】日本生命保険相互会社



日本生命